

2015年4月1日

第81号

発行：日本臨床検査技師連盟  
 発行責任者：宮島喜文  
 編集担当者：梶山広美

日本臨床検査技師連盟ニュース

# ◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇連盟とは
- ◇推薦状発行状況・会員状況指標
- ◇参加報告

## 連盟とは？

技師連盟新体制となり、この1年組織強化に向け①支部学会における会員の入会促進②選挙活動における推進状の発行③日技連「連盟会員のページ」掲示板にブロック活動の記載④連盟主催の地方議員等と呼んでのイベント開催について取り組みを進めてきました。会員数については、平成26年度目標の1万人にはほど遠い人数に留まっています。今後、更なる会員の入会促進を推進しなければなりません。今号では、「連盟とは？」についてご説明したいと思います。

連盟副代表 梶山 広美

### ●日本臨床検査技師連盟の歴史(抜粋)●

日本臨床検査技師連盟は、「日臨技」の監督下にある政治団体を結成し、本連盟を中心に「臨床検査の質の向上」及び「法改正」実現を図るため設立されました。

\*

昭和33年「衛生検査技師法」公布、昭和45年には「臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律」が制定され、新たに臨床検査技師制度ができ、採血業務及び生理学的検査6項目が制限業務化されました。その後会員より更なる法改正の息吹が沸き起こった。

平成元年「日臨技」総会において、法改正強化年とすることを満場一致で採択し、「法改正対策本部」を設置、以下の運動の5つの目標を掲げ活動を推進した。

- 1)臨床検査技師の身分・待遇・地位を改善し、広く国民の健康、医療、福祉の向上に寄与する。
- 2)臨床検査技師が医療福祉に果たす役割とその重要性を広く社会にアピールし、必要な関係法規の改正を訴える。
- 3)臨床検査とは命を測る仕事、総合的精度管理は臨床検査技師の生命線であることを徹底して追求する。

4)近代医療にマッチした臨床検査と臨床検査技師を厳しく追及する。

5)組織の拡大を目指し、組織体制を強化する。

平成7年 「日臨技」総会において、「法改正推進」を目的とした政治的な取り組みの導入が承認され、その後、「日臨技」が本連盟の組織構築のため、「法改正推進対策委員会」を設置し、当連盟の政治的な運動に対する理念を確立した。

平成10年7月 東京都選挙管理委員会に設立届け書を提出し受理された。

平成10年10月 自由民主党本部において、橋本龍太郎前総理大臣と懇談し、「臨床検査技師問題議員懇談会幹事会」を結成し、「日臨技」からの要望書、問題点を検討し法改正の必要性を確認した。

平成15年3月 橋本龍太郎元総理大臣を会長とし「自民党臨床検査技師制度改革議員連盟」が設立された。

(議連発起人及び入会者は99名)

平成17年3月 自由民主党、公明党の与党議員30名での提案による「臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律」の改正案が国会へ、臨床

(次頁に続く)

## (前頁より続く)

検査の精度の向上等質の向上を目指し提出された。同年4月に各派共同提案による「付帯決議」を付けて可決、5月2日に制定公布された。

平成18年 「臨床検査の標準化と精度保障に関する事業」および「臨床検査技師人財育成に関する事業」の2点に絞り、「2007年度予算編成・税制改正に関する要望」を自由民主党および公明党に対し行った。

平成21年 政権与党民主党への取り組みが始まる。日本臨床衛生検査技師会と協議しつつ、政権与党になった民主党にも、議員連盟ないし陳情・要望がスムーズにできるようにパイプを作る取り組みを開始した。

平成22年 民主党内に医療技術者団体議員連盟の発足を目指し、医療技術者7団体の要望書を提出した。

平成24年 民主党医療技術者政策推進議員連盟へ、平成25年度予算要望と業務拡大の要望書を提出した。(「日臨技」が要望書を作成。

連盟を通じて議員に提出したものである。)

## 【業務拡大】

1. 微生物検査を始めとする体採取について
2. 血圧測定 血圧測定
3. 生理検査業務の項目追加 電気味覚検査並びに嗅覚検査

## 【予算要望】

1. 「採血・検査の説明できる技師養成事業」に関し国庫補助 金支出を要請

## 平成25年以降は次号以降に掲載予定です。

## \*連盟費の活用について\*

納入された連盟費は、臨床検査技師等に関する法律等の改正を推進するための政治的な活動を行う際に使用されます。前記技師連盟の歴史における活動に使用されてきました。

資金の収支は政治資金規正法により厳しく管理され、毎年東京都選挙管理委員会に報告することになっております。

## ●推薦状発行状況●※平成27年統一地方選関係

	推薦状枚数	内容
自民党	5	熊本1、岡山2、福岡2
公明党	2	熊本1(全候補)、福岡1(全候補)
その他	0	

## ●会員状況指標●3月末現在

	連盟会費状況	前年度 同期比較	Web登録会員	Web登録会員中の 「自動引き落とし」 登録者
平成27年度	939口	362%	150名	120名
平成26年度	259口	—	0名	0名



## 参加報告

### ■2月23日上田いさむ新春の集い

日臨技横地専務理事とともに参加しました。

自公連立を反映した形で自民党議員・選対関係者の来賓スピーチが大半でした。日臨技の精度管理事業を国会質問で取り上げていただいた同議員には、今後ともご理解ご協力をいただけるよう散会時にお願ひしました。



(連盟事務局長  
島村克哉)

### ■2月26日だて忠一君を励ます会

だて忠一先生は、現在、参議院自由民主党幹事長に就任し、参議院自民党のまとめ役として国会最前線にて持ち前のバイタリティと豊富な経験を遺憾なく発揮されており、当連盟からは連盟役員7名が出席しました。

冷たい雨が雪になりそうな2月26日の夜、駅からの人の流れは途切れることもなく続いていた。行く先は都内ホテルニューオータニで開催された参議院自由民主党幹事長 参議院議員 “だて忠一君を励ます会” であった。会場の受付は、伊達先生を支持・支援する団体・企業・個人で溢れ、外の雨空を忘れてしまいそうな熱気であった。宴会場入口には胸に赤い花を付けた衆議院参議院議員の先生方々が支持者を迎え入れていた。伊達先生の今後に期待する表れであろう。宴会場は瞬く間に支持者で満杯となり、参議院自由民主党国会対策副委員長ならび自由民主党女性局長の三原じゅん子先生の司会で開宴となった。伊達先生を励まし応援する形で前総理の現副総理 財務大臣 金融担当大臣 麻生太郎先生を始めとして、著名な先生方が挨拶をされた。前総理の森義郎先生も会場にみられていた。日本臨床検査技師連盟の宮島喜文代表は当連盟の顔として各先生方にご挨拶と法案成立の御礼等、精力的に動いていた。同席した直井芳文連盟副代表も積極的に次に繋がる行動を展開していた。

(連盟幹事長 佐野和三)



### ■3月8日自由民主党大会

招待を受けた宮島代表の所用により、代理で参加しました。都道府県連代表らを中心に、3000名をゆうに超える参加で会場は熱気にあふれました。

立党60周年新たな扉を開こうー地方創生と女性活躍を進め、統一地方選挙に勝利しようーと題した第82回自由民主党大会であり、冒頭選出された議長団はベテラン男性、女性、青年の3名という構成でした。

党務報告として谷垣幹事長より、党情報告、政策報告、運動方針案、党則改正案、予算・決算が説明され、承認されました。

来賓としては、友党として公明党山口代表から、自公連立の継続と選挙連携が表明されました。榊原経団連会長がアベノミクスを評価し支える姿勢を表明し、今春の賃上げについても協力が約束されました。

ゲストスピーチとして、昨年のノーベル賞を受賞した天野名大教授が青色ダイオードを利用したエネルギー効率改善プロジェクトで、従来30%を原発依存してきた電気の約半分の15%は削減貢献できる見込みと説明し、世界に向けた省エネ技術開発としてリードできることが示唆されました。

式次第終了後、安部党首より政権復帰から、その後の経済活性化の実績、総選挙での信任勝利を振り返り、経済指標や地方経済の停滞は事実として認めつつも、「この道しかない」として統一選挙の取り組みが力強く提起されました。

(連盟事務局長 島村克哉)



熱弁をふるう安部総裁

